

令和7年度 道徳教育 全体計画

学校番号	61	駒ヶ根工業 高等学校	全 課程	工業 科
------	----	------------	------	------

学校教育目標	
①工業を中心とする基礎的、実践的な教育（ものづくりを中心とした体験学習）を通して、工業人としての自覚を持ち、その氏名と責任を全うできる実践力のある人間を育成する。	
②人間としてお互いの人格を尊重し、明るく、楽しくいじめや体罰のない、安心して過ごせる 学校づくりを目指す。	
③自主活動（生徒会活動・ボランティア活動等）を通じて、自主・自立の精神を鍛え、健康の維持と体力の増進を図る。	
④地域との連携を深め、開かれた学校作りを目指す。	
重点目標	
①基礎学力の向上と探求的な学びの定着を図る。 ・進路意識を高め将来設計を考えさせるキャリア教育と、進路実現のための指導を充実させる。	
②生徒に活躍の場を与え、やる気と自信、達成感と成就感を持たせる。 ・生徒会、部活動、地域貢献をとおして自己形成を図り、コミュニケーション能力を高める。	
③すべての子どもの学びの保障を推進し、いじめ等のない明るく開かれた学校を目指す。	
④体力の向上とスポーツの振興、特に部活動の活性化を目指す。	

人権教育の重点目標	
1	人権感覚を持ち、平和を希求する生徒を育成する。
2	学校内外での諸活動を通して自主性・主体性を育み、行動できる力を身に付ける。
3	基本的な生活習慣を確立させ、社会道徳の育成を図る。
4	一人一人の生徒が安心して学校生活を送ることができる環境を作る。
5	絶対にいじめは許さないという心を養う。



学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等
1年	基本的な生活習慣を身に付ける。人間的な成長を目指す。駒工での学び、駒工でのチャレンジをテーマに指導を行う。仲間を認め合い、お互いを思いやる心を大切に、社会に出るために大切な力を大きくむことを目指す。熱中できることを見つけ、資格取得や部活動、生徒会にも積極的に挑戦する。	工場見学や進路ガイダンスを通して自らの興味・関心・適性を意識し、将来設計・社会参画を考える基盤とする。 また駒ヶ根市役所と連携しているウミガメプロジェクトも行う。 ○ウミガメプロジェクト（市役所との密な連携） ○進路ガイダンス ○工場見学 ○適性検査	クラスの仲間との活動を通して、個人の意見を発信し、仲間を理解する力や、仲間の意見を聞き入れ、それに同調し協力する協調性を身につける。 教員のトップダウンではなく、自分や仲間同士で課題を解決していくようにコーチングしていく。	普段の授業では経験できないような体験や、クラス以外の組織に所属し、他学年を含む集団の中で様々な体験を通して努力する態度を育んだり、本気で取り組む場面を作る。 また、特別活動は失敗や困難なことが多いが、個人の努力や仲間と力を合わせることで失敗を克服したり困難を乗り越えることができる体験をする。
2年	凡事徹底に加え、何かに挑戦することを学年目標とする。挑戦のための準備、実行、振り返りを通して目標の達成のために努力するとともに、自ら考え行動する力をつけさせ、社会にでるために大切な力を大きくむことを目指す。資格取得や部活動、生徒会活動、ボランティア活動など、積極的に挑戦する。	工場見学・就業体験・進学ガイダンス・高校内企業説明会・企業見学の準備、実行、振り返りを通して自らの興味・関心・適性を意識し、将来設計・社会参画を考える基盤とする。 ○進路ガイダンス ○工場見学 ○就業体験 ○高校内企業説明会 ○企業見学 ○進学ガイダンス	自分の意思で決定した学科でのクラスの仲間との活動を通して個人の意見を発信し仲間理解してもらえようとする力や、仲間の意見を聞き入れそれに同調し協力する協調性を身に着ける。 教員のトップダウンではなく仲間同士で課題を解決していくようにコーチングしていく。	普段の授業では経験できないような体験やクラス以外の組織に所属し、他学年を含む集団の中で様々な体験を通して努力する態度を育んだり本気で取り組む場面を作る。 また特別活動は失敗や困難なことが多いが個人の努力や仲間と力を合わせることで失敗を克服したり困難を乗り越えることができる体験をする。
3年	・基礎学力をつけ、就職や進学に耐えうる準備をする。また、専門分野の技能と知識、検定・資格取得を通して、知恵と技を身につける。 ・基本的な生活習慣を身に付け、社会に出る準備をする。 ・学校や社会・家庭のルールを守り約束を守る人づくりを目指す。 ・自分の将来を考え、進路決定に向けて自主的に考え行動できる力を養う。	本格的な専門分野の学びに挑戦し、スキルを身につける。 様々な学習や体験を通して将来の職業を考える。 ○各学科の専門教育 ○就業体験 ○地元企業研究 ○資格・検定取得	・基礎学力をつけて、就職や進学に耐えうる準備をする。また、専門分野の学びに力を入れ、知恵と技を身につける。 ・クラスや学年行事を通して、異なる価値観をもつ他人の存在を認め合い、尊重しあえる人権感覚を育む。 ・自分の将来を考え、進路決定に向けて自主的に考え行動できる力を養う。	組織における中心的な存在として主体的に行動し、目標の実現に向けて他者と協働する自主的かつ実践的な態度を身に付ける。 ○生徒会の活動 ○委員会の活動 ○部活動の運営 ○文化祭の活動



各教科	
国語	様々な文学作品、評論等を通して、また他者との関わり合いの中で伝え合う力を高め、思考力や共感する力を養い、豊かな情操や判断力を養う。
地理歴史	社会的事象を考察することにより、現在の社会のありかたや人間としての生き方について思考し、選択、判断、行動する力を養う。
公民	主権者として社会の現象を捉え、主体的に社会参加する態度を養う。社会の多様性を認め、理解する態度を養う。
数学	数学的な物の見方・考え方を通し、問題に関する探究心・粘り強く取り組む力・想像力を培い主体的に問題解決できる力を養う。
理科	積極的に自然の事象に関わり、観察や実験を通して科学的な見方や考え方を養い、真理を大切にしようとする態度を育む。
保健体育	体育や保健の見方・考え方を働かせ、他者を尊重する態度や、粘り強くやり遂げる心、個性の違いを理解し大切にすることを養う。
芸術	芸術における感性・思考・観察力を働かせ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
外国語	外国語の学習を通じて、その背景にある他の文化やものの考え方に対する理解を深め、尊重していく態度を育成する。
家庭	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、様々な人々と協働し、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。
機械	ものづくりを通して、技術者としての基礎基本を学び、探究心・行動力を発揮し、社会で必要とされる人間性・創造力・独創性を養う。
電気	基礎的・実践的な教育を通して、地域社会に貢献できる人材を育成する。更に技術や専門知識を身につけるために上級学校に進学し、社会全体に貢献できる人材を育成する。
情報技術	情報通信機器やコンピュータシステムの持つ特性について知識を深め、次世代において有効に活用されるシステムの構築や人間性を重視したもののづくりに粘り強く取り組む態度を育てる。

家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざした工業の専門高校として地域産業の中核を担える知識と技術と行動力を持つ人材育成に努める。 ・実践的知識・経験を深めるために企業連携、地域連携を進展させる。 ・ボランティア活動などを通して、地域に根ざし開かれた学校として地域社会との連携を深め、生徒が社会に貢献しようとする態度を養う。 ・家庭と連携し日常生活を送る中で、生徒が自己を尊重する心、他者を尊重する心を育み、社会の構成員また、担い手としての自覚を高める。
-----------	---